

付録 調査票

保険調剤薬局における緩和ケアへの かかわりに関する調査

薬局の実務担当責任者の方がお答え下さい

- 本調査は、①がん患者の疼痛緩和を普及させるために医療用麻薬を今以上に使用しやすくすること、②がん患者に安全で適正な服薬指導を行うために必要な制度を明らかにすることを目的としています。また、その制度の見直しを働きかけるための重要な基礎資料とすることを目的としています。

<調査用紙の回答方法>

- それぞれの質問について、最もあてはまるとお考えになる番号を選んで○をおつけください。また、()内にはあてはまる言葉や数字をご記入ください。

回答の記入例

	行っていない	今後行う予定	行っている
○ 服薬指導を行うための個室の整備	①	2	3
○ 経口麻薬製剤の調剤	1	2	③

- すべてを記入するのに、およそ 20 分程度を要します。
- 調査結果はすべて統計的に処理され、薬局名が明らかにされることは一切ありません。

ご記入頂きました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、3 週間以内にご投函いただけますようお願いいたします。

平成20年度厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業

『がん医療の均てん化に資する緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究』班

主任研究者 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 木澤義之

分担研究者 聖路加国際病院 薬剤部 塩川満

日本医科大学付属病院 薬剤部 伊勢雄也

【本調査に関するお問い合わせ先】

日本医科大学付属病院 薬剤部 伊勢雄也

I. 最初にあなたご自身のことについてお伺いします。

あてはまる番号に○をおつけください。また、()内にあてはまる数字をご記入ください。

① 性別

1. 男

2. 女

② 薬剤師免許を習得してからの年数

()年

③ 病院勤務の経験

1. 経験なし

2. 経験あり()年

④ 薬局での実務年数

()年

⑤ 1年間にご自身が在宅や外来において服薬指導を行ったがん患者の実数(概算)

1. 0人

2. 1-10人

3. 11-30人

4. 31-50人

5. 51人

⑥ 「緩和ケア」という言葉についてどのくらい知っていますか

1. 知らない

2. 聞いたことがある

3. よく知っている

II. 次にあなたの薬局の状況についてお伺いします。

()内にあてはまる言葉や数字をご記入ください。

① 都道府県名

()

② 薬剤師数

(パート、臨時職員等も含む:半日勤務の場合は0.5で数える)

()人

③ 月平均処方せん枚数(枚/月)

()枚/月

④ 最も処方せん応需が多い医療機関を1つ選んで○をおつけください。

1. 大学病院・公立病院など地域基幹病院であり、がん診療拠点病院の認定を受けているか、または緩和ケア病棟(または緩和ケアチーム)を有している病院
2. 大学病院・公立病院など地域基幹病院であるが、がん診療拠点病院の認定も受けておらず、緩和ケア病棟(または緩和ケアチーム)も有していない病院
3. 一般病院
4. 診療所・クリニック
5. その他()

Ⅲ. 薬局の緩和ケアに関する設備や状況についてお伺いします。

<言葉の定義>

*服薬指導とは、すくなくとも以下のいずれかを窓口で対面して患者または家族へ情報を提供することとします。

(薬効、用法、用量、副作用、使用上の注意、新規／中止処方理由の確認、
飲み忘れ時の対応、他薬剤との相互作用等)

① 最もあてはまる番号を1つ選んで○をおつけください。

	行っていない	今後行う予定	行っている
○ 服薬指導を行うための個室の整備	1	2	3
○ 経口麻薬製剤の調剤	1	2	3
○ 経口麻薬製剤の服薬指導	1	2	3
○ 経口麻薬製剤の在宅患者への配達	1	2	3
○ 注射麻薬製剤の調剤	1	2	3
○ 注射麻薬製剤の服薬指導	1	2	3
○ 注射麻薬製剤の在宅患者への配達	1	2	3
○ 中心静脈栄養の混注	1	2	3
○ 中心静脈栄養の在宅患者への配達	1	2	3
○ 抗がん剤のミキシング	1	2	3
○ 時間外処方せんに24時間体制で対応する(自施設のみで)	1	2	3
○ 時間外処方せんに24時間体制で対応する(他施設と連携して)	1	2	3
○ 病院の退院カンファレンスへの参加	1	2	3
○ 運営上の問題について病院薬剤師と定期的に会合をもつ	1	2	3

Ⅳ. 現在の医療用麻薬の取り扱い状況についてお伺いします。

① 麻薬小売業者免許の有無

1. なし

2. あり

② 月平均麻薬処方せん枚数(枚/月)

()枚/月

③ 麻薬の在庫の有無

1. なし → ④へ

2. あり → ⑤へ(次ページ)

④ ③で在庫“なし”と回答した方にお伺いします。

在庫がない理由についてあてはまる番号を選んで○をおつけください(複数回答可)。

1. 麻薬処方せんが持ち込まれることがないので必要ない
2. 他の近隣の保険薬局を紹介するため必要ない
3. 管理に手間がかかるためおかない、またはおけない
4. 収益にならない(経済的な負担がかかる)ためおかない、またはおけない
5. 麻薬小売業免許を取得する手段が煩雑なためおかない、またはおけない
6. その他()

⑤ ③で在庫“あり”と回答した方にお伺いします。

- 1) 年間の麻薬の平均使用量(金額ベース)ならびに、全体の仕入れ量に対するデッドストックの割合はどの程度ですか(概算で可)。

麻薬の平均使用量

金額()円/年

デッドストックの割合

1. 0-20%	2. 20-40%	3. 40-60%	4. 60-80%	5. 80%以上
----------	-----------	-----------	-----------	----------

- 2) 在庫していない医療用麻薬の処方せんが持ち込まれた場合、麻薬を購入することは可能ですか。

1. 不可能	2. 数時間以内に可能	3. 数時間～1日以内に可能	4. 1日以上かければ可能
--------	-------------	----------------	---------------

⑥ 1) 2007年9月より他薬局(麻薬小売業者免許を取得している)からの麻薬の譲渡/譲受が可能となりました(詳細は同封した参考資料を参照)。あなたの薬局はこの許可免許を取得することにより麻薬が扱いやすくなりますか。

1. ならない,またはならなかった → 2)へ	2. なる,またはなった → ⑦へお進みください
-------------------------	--------------------------

- 2) 1)で“ならない”と回答した方にお伺いします。その理由についてあてはまる番号を選んで○をおつけください(複数回答可)。

1. 同一患者に対し、新規処方分のみしか麻薬の譲渡/譲受ができない(継続して譲受ができない)から
2. 異なる都道府県の区域の薬局間では麻薬の譲渡/譲受ができないから
3. 許可申請が重複している薬局間では麻薬の譲渡/譲受ができないから
4. 備蓄薬局など大規模薬局からの譲渡/譲受ができないから
5. 麻薬の譲渡/譲受申請の地方厚生(支)局長への申請手続きが煩雑であるから
6. 譲渡/譲受後の書類の作成/保管が煩雑であるから
7. 麻薬の運搬の際、それぞれの薬局の管理薬剤師が立ち会う必要があるから

⑦ 以下の項目は、今後あなたの薬局が麻薬処方せんを引き受けやすくするためにどのくらい必要と思われますか。最もあてはまる番号を1つ選んで○をおつけください。

	必要でない	あまり必要でない	どちらでもない	ある程度必要である	極めて必要である
○ 医療用麻薬の調剤に関する保険点数が上がること	1	2	3	4	5
○ 医療用麻薬の譲受から払い出し、廃棄に至るまでの業務が簡素化されること	1	2	3	4	5
○ 卸業者への医療用麻薬の返品が可能になること	1	2	3	4	5
○ 地域の備蓄薬局からの医療用麻薬の譲渡ができること	1	2	3	4	5
○ 医療用麻薬の薬価が下がること	1	2	3	4	5
○ 医療用麻薬の小売単位が小さくなること	1	2	3	4	5
○ 卸業者から、医療用麻薬の迅速な供給体制が確立されること	1	2	3	4	5

V. 医療用麻薬の服薬指導についてお伺いします。

- ① 現在勤務している薬局で、医療用麻薬が使用開始となったがん患者に対して服薬指導(*3ページ言葉の定義参照)は行っていますか。

1. 行っていない→②へ

2. 行っている→③へ

- ② ①で“1. 行っていない”と回答した方にお伺いします。その理由について、あてはまる番号を選んで○をおつけください(複数回答可)。

1. 医療用麻薬の服薬指導に必要な知識を習得していないから
2. 処方医から指導をしなくてよいと言われたから
3. 患者が病名について知らされているか分からず、「麻薬」と説明していいか分からないから
4. 患者の病状や病名が分からず、正確に服薬指導する情報が足りないから
5. 勤務が忙しく、人的な余裕がないから
6. 指導しても報酬につながらないから
7. その他()

- ③ ①で“2. 行っている”と回答した方にお伺いします。その内容について、最もあてはまる番号を1つ選んで○をおつけください。

	行っていない	時々行っている	常に行っている
○ 薬効の説明	1	2	3
○ 用法/用量の説明	1	2	3
○ 副作用の説明	1	2	3
○ レスキュー(屯用)の使用状況の確認	1	2	3

- ④ がん患者に初回の服薬指導後、次回薬局へ来るまでの間、服薬コンプライアンス、痛み、副作用などの評価のために薬局側から患者へ連絡を取っていますか。

1. 行っていない

2. 時々行っている

3. 常に行っている

⑤ がん患者の服薬指導を薬局で安全に行うために、以下の項目について“現在の状況”と“必要性の度合い”について、それぞれ最もあてはまる記号と番号を1つずつ選んで○をおつけください。

	現在の状況		必要性の度合			
	そうではない	そうである	必要ではない	どちらでもない	必要である程度	極めて必要である
○ 患者の病名が分かる	a	b	1	2	3	4
○ 患者への告知状況が分かる	a	b	1	2	3	4
○ 医師が患者に麻薬と説明したか分かる	a	b	1	2	3	4
○ レスキュー（屯用）の選択、使用間隔、使用回数が指示されている	a	b	1	2	3	4
○ 副作用の対処について指示がある	a	b	1	2	3	4
○ 院内で行われた治療内容が分かる	a	b	1	2	3	4
○ 保険適応外の薬剤に関する情報が分かる（なぜその薬剤が処方されているか）	a	b	1	2	3	4
○ 処方に疑問がある時医師に（10分以内に）確認できる	a	b	1	2	3	4

VI. 麻薬を使用しているがん患者への対応についてお伺いします。

① 現在のあなたのおかれている状況について、最もあてはまる番号を1つ選んで○をおつけください。

	あてはまらない	あまりあてはまらない	どちらでもない	ややあてはまる	あてはまる
○ どうしていいかわからないことがよくある	1	2	3	4	5
○ 身体症状の緩和に関して専門的な知識や援助が容易に得られる	1	2	3	4	5
○ 疼痛の緩和のための知識や技術は十分である。	1	2	3	4	5

② 以下の項目について、お困りになることはありますか。最もあてはまる番号を1つ選んで○をおつけください。

	困ることはない	あまり困ることはない	どちらでもない	時々困る	常に困る
○ 患者の痛みの緩和	1	2	3	4	5
○ 痛み以外のからだの苦痛の緩和	1	2	3	4	5
○ 患者への精神的サポート	1	2	3	4	5
○ 家族へのサポート	1	2	3	4	5
○ 死を前にした患者さんにどう対応したらいいか	1	2	3	4	5
○ 医師など他職種とのコミュニケーション	1	2	3	4	5
○ 医師とすぐに連絡が取れないこと	1	2	3	4	5
○ 患者のプライバシーの保護	1	2	3	4	5

VII. 最後に現在、薬局でがん患者の服薬指導を行なうにあたり、問題と感じていること、制度上の変更が必要だと感じていることについて、ご自由にお書きください。



以上で質問は終了です。ご協力、誠にありがとうございました。

Ⅱ.研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍 (外国語)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Sayaka Takenouchi, Keiko Tamura.	Palliative Care in Japan	Betty R. Ferrell (Editor), Nessa Coyle (Editor)	Textbook of Palliative Nursing	Oxford University Press	New York	2010	in print
Iwamitsu Y, Buck R	Toward psychological intervention for cancer patients: emotional suppression, psychological distress, and coping with cancer.	Jacobs, LK	Coping with Cancer	Nova Sciences	New York	2008	77-94

書籍 (日本語)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
木澤義之	第Ⅲ章家族・他の医療者とのコミュニケーション. 在宅医療におけるコミュニケーション・スキル	藤森麻衣子、内富庸介	続・がん医療におけるコミュニケーション・スキルー実践に学ぶ悪い知らせの伝え方	医学書院	東京	2009	166-173
木澤義之	内科学総論, 緩和ケア	小川聡、伴信太郎、山本和利	改訂第7版内科学書	中山書店,	東京	2009	218-220
木澤義之	Ⅱ緩和ケアの教育と研修. 日本緩和医療学会PEACE プロジェクトーがん診療に携わるすべての医師が基本的な緩和ケアを実施できるように.	(財) 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団「ホスピス緩和ケア白書」編集委員会	ホスピス緩和ケア白書 2009	青海社	東京	2009	24-30
木澤義之	第19章. 緩和ケアの学び方	平原佐斗志・茅根義和	チャレンジ! 在宅がん緩和ケア	南山堂.	東京	2009	223-227
木澤義之, 森田達也 (編), 他		社団法人日本医師会 (監)	がん性疼痛治療のエッセンス	青海社	東京	2008	
木澤義之, 森田達也 (編), 他		社団法人日本医師会 (監)	がん緩和ケアガイドブック 2008年版	青海社	東京	2008	

森田達也, 木澤義之(編), 他	II. 緩和ケアにおける各職種の専門性 1. 緩和ケアチームの経緯と活動、筑波大学附属病院. 緩和ケアチームの立ち上げ方・進め方.	森田達也, 木澤義之, 戸谷美紀	緩和ケアチームの立ち上げ方・進め方	青海社	東京	2008	12-13
木澤義之	IV. 緩和ケアにおける各職種の専門性1. 医師の専門性と緩和ケア.	ホスピス緩和ケア白書編集委員会編	ホスピス緩和ケア白書2007	(財) 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	大阪	2007	43-46
林昇甫	III. 病院と地域緩和ケアネットワーク. 地域がん診療拠点病院としての地域緩和医療	森田達也, 木澤義之, 戸谷美紀編	ホスピス緩和ケア白書2007	青海社	東京	2008	47-52
志真泰夫, _	緩和ケアと地域連携.	岡田晋吾・谷水正人	パスでできる! がん診療の地域連携と患者サポート	医学書院	東京	2009	101-106
森田達也	緩和医療(終末期医療、在宅ケア)	中川和彦(編集), 勝俣範之, 西尾和人, 畠清彦, 朴成和(共同編集)	NAVIGATOR Cancer Treatment Navigator	メディカルレビュー社	東京	2008	278-279
森田達也	第3部がん化学療法中に施行する栄養管理. 5. 終末期がん患者に対する輸液治療	大村健二	がん患者の栄養管理 がん化学療法チームハンドブック	南山堂	東京	2009	262-271
橋爪隆弘	緩和ケアチーム教育のためのワークショップ.	ホスピス緩和ケア白書編集委員会	ホスピス緩和ケア白書2009	青海社	東京	2009	19-23
天野功二, 森田達也	第II章消化器癌化学療法の実際. 消化器癌化学療法施行時の栄養管理と消化器癌患者に対する緩和医療. 消化器癌患者に対する緩和医療	久保田哲朗, 大村健二	消化器癌化学療法 改訂2版	南山堂	東京	2009	359-374
岡村 仁	家族(夫・子ども)とどう向き合えばよいのでしょうか.	日本乳癌学会	患者さんのための乳がん診療ガイドライン	金原出版株式会社	東京	2009	150-151
岡村 仁	抗がん剤やホルモン剤によってうつになることはありますか.	日本乳癌学会	患者さんのための乳がん診療ガイドライン	金原出版株式会社	東京	2009	158-159
岡村 仁	IV. 心理・社会的問題へのアプローチ. 4. 医療スタッフのメンタルヘルス. 緩和ケアチームのための精神腫瘍学入門	小川朝生, 内富庸介	緩和ケアチームのための精神腫瘍学入門	医薬ジャーナル社	東京	2009	369-374

岡村 仁	V. 日常臨床での実践. 2. リソース. 緩和ケア チームのための精神腫 瘍学入門	小川朝生, 内富庸介	緩和ケアチー ムのための精 神腫瘍学入門	医薬ジャ ーナル社	東京	2009	406-409
岡村 仁	更年期の精神ケアとホル モン補充療法	佐伯俊昭, 本庄英雄	乳癌リスクか らみたホルモ ン補充療法の 治療指針	金原出版	東京	2007	62-66
高橋美賀子	第2章がん性疼痛のア セスメント, 痛みのア セスメントとは.	林章敏・中 村めぐみ・ 高橋美賀子	がん性疼痛ケ ア完全ガイド	照林社	東京	2010	38-49
高橋美賀子	第5章がん性疼痛の緩和 に有効なケア, 日常 的ケアとして実施でき るもの.	林章敏・中 村めぐみ・ 高橋美賀子	がん性疼痛ケ ア完全ガイド	照林社	東京	2010	246-255
高橋美賀子	予後予測	濱口恵子, 小迫富美 恵, 千崎美 登子, 高橋 美賀子, 大 谷木靖子	一般病棟でで きる! がん患 者の看取りの ケア, あなたの 疑問にがん 看護専門看護 師が答えます	日本看護 協会出版 会	東京	2008	26-33
高橋美賀子	がん疼痛ケアの実際一 患者・家族の指導と援助	林章敏	Nursing Mook50 がん 疼痛ケア	学習研究 社	東京	2008	101-108
武田文和, 高 橋美賀子, 石 田有紀	がんの痛みよ, さよう なら! Q&A	武田文和, 高橋美賀 子, 石田有 紀	がんの痛み よ, さような ら!	金原出版	東京	2008	
高橋美賀子	ナースによるナースの ためのがん患者のペイ ンマネジメント新 版, Evidence-based Nursingの探求	高橋美賀 子, 梅田恵, 熊谷靖代	ナースによる ナースのため のがん患者の ペインマネジ メント新 版, Evidence- based Nursing の探求	日本看護 協会出版 会	東京	2007	
竹之内沙弥 香, 田村恵子	End-of-Life Nursing Education Consortium Japan指導者養成プロ グラム	日本ホスピ ス・緩和ケ ア研究振興 財団「ホス ピス緩和ケ ア白書 2009」編集 委員会.	ホスピス・緩 和ケア白書 2009	青海社	東京	2009	38-42
岩満優美	気持ちがあくじけてしま いそうです。どうした らいいでしょうか?	小松嘉人	「胃がん・大 腸がんを薬で 抑えましょ う」といわれ た時	憐ヴァン メディカ ル.	東京	2008	102
岩満優美	高齢者の心理療法ー高 齢者のターミナルケア と残された人々へのグ リーフカウンセリング	下仲順子	高齢期の心理 と臨床心理学	培風館	東京	2007	350-365

塩川満, 他	ケーススタディ	日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師のための緩和医療実践問題集	じほう	東京	2009	
伊勢雄也, 他	ケーススタディ	日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師のための緩和医療実践問題集	じほう	東京	2009	11-25
伊勢雄也	解熱鎮痛薬 (アセトアミノフェン)	日本緩和医療薬学会	臨床緩和医療薬学	真興交易	東京	2008	106-110

雑誌 (外国語)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Miyashita M, Yasuda M, Baba R, Iwase S, Teramoto R, Nakagawa K, Kizawa Y, Shima Y.	Inter-rater reliability of proxy simple symptom assessment scale between physician and nurse: a hospital-based palliative care team setting.	Eur J Cancer Care (Engl).	19(1)	124-30.	2010
Okamoto T, Ando M, Morita T, Hirai K, Kawamura R, Mitsunori M, Sato K, Shima Y.	Religious care required for Japanese terminally ill patients with cancer from the perspective of bereaved family members.	Am J Hosp Palliat Care.	27(1)	50-54	2010
Morita T, et al	Meaninglessness in terminally ill cancer patients: A randomized controlled study	J Pain Symptom Manage	37	649-658	2009
Yamagishi A, Morita T, et al	Symptom Prevalence and longitudinal follow-up in cancer outpatients receiving chemotherapy	J Pain Symptom Manage	37	823-830	2009
Sanjo M, Morita T, Shima Y, et al	Caregiving consequences inventory: a measure for evaluating caregiving consequences from the bereaved family member's perspective	Psychooncology	18	657-666	2009
Miyashita M, Morita T, Shima Y, et al	Quality indicators of end-of-life cancer care from the bereaved family members' perspective in Japan	J Pain Symptom Manage	37	1019-1026	2009
Morita T, Shima Y, et al	Late referrals to palliative care units in Japan: Nationwide follow-up survey and effects of palliative care team involvement after the cancer control act	J Pain Symptom Manage	38	191-196	2009

Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	Artificial hydration therapy for terminally ill cancer patients: a nurse-education intervention	J Pain Symptom Manage	38	358-364	2009
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	International comparison study on the primary concerns of terminally ill cancer patients in short-term life review interviews among Japanese, Koreans, and Americans	Palliat Support Care	7	349-355	2009
Tarumi Y, <u>Morita T</u> , et al	Cancer pain- progress and ongoing issues in Japan	Pain Res Manag	14	357-358	2009
Fukuhori H, <u>Morita T</u> , et al	Administrators' perspectives on end-of-life care for cancer patients in Japanese long-term care facilities	Support Care Cancer	17	1247-1254	2009
Sato K, <u>Morita T</u> , et al	The long-term effect of a population-based educational intervention focusing on end-of-life home care, life-prolongation treatment, and knowledge about palliative care	J Palliat Care	25	206-212	2009
Nakazawa Y, <u>Morita T</u> , et al	The Palliative care knowledge test: reliability and validity of an instrument to measure palliative care knowledge among health professionals	Palliat Med	23	754-766	2009
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	The efficacy of mindfulness-based meditation therapy on anxiety, depression, and spirituality in Japanese patients with cancer	J Palliat Med	12	1091-1094	2009
Miyashita M, <u>Morita T</u> , <u>Shima Y</u> , et al	J-HOPE study: Evaluation of End-of-Life Cancer Care in Japan from the Perspective of Bereaved Family Members	J Clin Oncol	27	502s(suppl; abstr 9577)	2009
Ando M, <u>Morita T</u> , <u>Shima Y</u> , et al	Value of religious care for relief of psycho-existential suffering in Japanese terminally ill cancer patients: the perspective of bereaved family members	Psychooncology	Sep 25: [Epub ahead of print]		2009
Okamoto T, <u>Morita T</u> , <u>Shima Y</u> , et al	Religious care required for Japanese terminally ill patients with cancer from the perspective of bereaved family members	Am J Hosp Palliat Care	Sep 15: [Epub ahead]		2009
Choi J, <u>Morita T</u> , <u>Shima Y</u> , et al	Preference of place for end-of-life cancer care and death among bereaved Japanese families who experienced home hospice care and death of a loved one	Support Care Cancer	Oct 27: [epub ahead of print]		2009
<u>Morita T</u> , et al	Palliative care needs of cancer outpatients receiving chemotherapy: an audit of a clinical screening project.	Support Care Cancer	16	101-107	2008

Sato K, <u>Morita T</u> , et al	Quality of end-of-life treatment for cancer patients in general wards and the palliative care unit at a regional cancer center in Japan: a retrospective chart review.	Support Care Cancer	16	113-122	2008
<u>Morita T</u> , et al	Screening for discomfort as the fifth vital sign using an electronic medical recording system: a feasibility study.	J Pain Symptom Manage	35	430-436	2008
Sanjo M, <u>Morita T</u> , et al	Perceptions of specialized inpatient palliative care: a population-based survey in Japan.	J Pain Symptom Manage	35	275-282	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Identification of quality indicators of end-of-life cancer care from medical chart review using a modified Delphi method in Japan.	Am J Hosp Palliat Med	25	33-38	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Barriers to referral to inpatient palliative care units in Japan: a qualitative survey with content analysis.	Support Care Cancer	16	217-222	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Good death inventory: A measure for evaluating good death from the bereaved family member's perspective.	J Pain Symptom Manage	35	486-498	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Effect of a population-based educational intervention focusing on end-of-life home care, life-prolonging treatment and knowledge about palliative care.	Palliat Med	22	376-382	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	The Japan hospice and palliative care evaluation study (J-HOPE Study): study design and characteristics of participating institutions.	Am J Hosp Palliat Med	25	223-232	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Factors contributing to evaluation of a good death from the bereaved family member's perspective.	Psycho-Oncology	17	612-620	2008
Sato K, <u>Morita T</u> , et al	Reliability assessment and findings of a newly developed quality measurement instrument: Quality indicators of end-of-life cancer care from medical chart review at a Japanese regional cancer center.	J Palliat Med	11	729-737	2008
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Evaluation of end-of-life cancer care from the perspective of bereaved family members: The Japanese experience.	J Clin Oncol	26	3845-3852	2008
Akechi T, <u>Morita T</u> , et al	Psychotherapy for depression among incurable cancer patients.	Cochrane Database Syst Rev	Apr 16	CD005537	2008

Ando M, <u>Morita T</u> , et al	One-week short-term life review interview can improve spiritual well-being of terminally ill cancer patients.	Psycho-Oncology	17	885-890	2008
Tei Y, <u>Morita T</u> , et al	Treatment efficacy of neural blockade in specialized palliative care services in Japan: a multicenter audit survey.	J Pain Symptom Manage	36	461-467	2008
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	A pilot study of transformation, attributed meanings to the illness, and spiritual well-being for terminally ill cancer patients.	Palliat Support Care	6	335-340	2008
<u>Morita T</u> , et al	Palliative care in Japan: shifting from the stage of disease to the intensity of suffering.	J Pain Symptom Manage	36	e6-e7	2008
Yamagishi A, <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Palliative care in Japan: current status and a nationwide challenge to improve palliative care by the Cancer Control Act and the Outreach Palliative Care Trial of Integrated Regional Model (OPTIM) study.	Am J Hosp Palliat Care	25	412-418	2008
Shiozaki M, <u>Morita T</u> , et al	Measuring the regret of bereaved family members regarding the decision to admit cancer patients to palliative care units.	Psychooncology	17	926-931	2008
<u>Morita T</u> , et al	Meaninglessness in terminally ill cancer patients: A randomized controlled study.	J Pain Symptom Manage	Sep 30:	[Epub ahead of print]	2008
Yamagishi A, <u>Morita T</u> , et al	Symptom Prevalence and longitudinal follow-up in cancer outpatients receiving chemotherapy.	J Pain Symptom Manage	Sep 18:	[Epub ahead of print]	2008
Sanjo M, <u>Morita T</u> , et al	Caregiving consequences inventory: a measure for evaluating caregiving consequences from the bereaved family member's perspective.	Psychooncology	Nov 24:	[Epub ahead of print]	2008
Namba M, <u>Morita T</u> , et al	Terminal delirium: families' experience.	Palliat Med	21	587-594	2007
<u>Morita T</u> , et al	Development of national clinical guideline for artificial hydration therapy for terminally ill patients with cancer.	J Palliat Med	10	770-780	2007
Matsuo N, <u>Morita T</u>	Physician-reported practice of the use of methylphenidate in Japanese palliative care units.	J Pain Symptom Manage	33	655-656	2007

Osaka I, <u>Morita T</u> , et al	Palliative care philosophies of Japanese certified palliative care units: a nationwide survey.	J Pain Symptom Manage	33	9-12	2007
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Life review interviews on the spiritual well-being of terminally ill cancer patients.	Support Care Cancer	15	225-231	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , <u>Kizawa Y</u> , et al	Barriers to providing palliative care and priorities for future actions to advance palliative care in Japan: A nationwide expert opinion survey.	J Palliat Med	10	390-399	2007
Asai M, <u>Morita T</u> , et al	Burnout and psychiatric morbidity among physicians engaged in end-of-life care for cancer patients: A cross-sectional nationwide survey in Japan.	Psycho-Oncology	16	421-428	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Good death in cancer care: a nationwide quantitative study.	Ann Oncol	18	1090-1097	2007
Fujimori M, <u>Morita T</u> , et al	Preferences of cancer patients regarding the disclosure of bad news.	Psycho-Oncology	16	573-581	2007
<u>Morita T</u> , <u>Ohnishi H</u> , et al	Meaninglessness in terminally ill cancer patients: a validation study and nurse education intervention trial.	J Pain Symptom Manage	34	160-170	2007
Sanjo M, <u>Morita T</u> , et al	Preferences regarding end-of-life cancer and associations with good-death concepts: a population-based survey in Japan.	Ann Oncol	18	1539-1547	2007
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	Primary concerns of advanced cancer patients identified through the structured life review process: A qualitative study using a text mining technique.	Palliat Support Care	5	265-271	2007
Matsuo N, <u>Morita T</u>	Efficacy, safety, and cost effectiveness of intravenous midazolam and flunitrazepam for primary insomnia in terminally ill patients with cancer: a retrospective multicenter audit study.	J Palliat Med	10	1054-1062	2007
<u>Morita T</u> , et al	Terminal delirium: recommendations from bereaved families' experiences.	J Pain Symptom Manage	34	579-589	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , <u>Takahashi M</u> , et al	Physician and nurse attitudes toward artificial hydration for terminally ill cancer patients in Japan: results of 2 nationwide surveys.	Am J Hosp Palliat Med	24	383-389	2007

Miyashita M, <u>Morita T</u> , <u>Takahashi M</u> , et al	Nurse views of the adequacy of decision making and nurse distress regarding artificial hydration for terminal ill cancer patients: a nationwide survey.	Am J Hosp Palliat Care	24	463-469	2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Barriers to referral to inpatient palliative care units in Japan: a qualitative survey with content analysis.	Support Care Cancer	Feb 21: [Epub ahead of print]		2007
Miyashita M, <u>Morita T</u> , et al	Factors contributing to evaluation of a good death from the bereaved family member's perspective.	Psychooncology	Nov 9: [Epub ahead of print]		2007
Ando M, <u>Morita T</u> , et al	One-week short-term life review interview can improve spiritual well-being of terminally ill cancer patients.	Psychooncology	Nov 29: [Epub]		2007
Shiozaki M, <u>Morita T</u> , et al	Measuring the regret of bereaved family members regarding the decision to admit cancer patients to palliative care units	Psychooncology	Dec 21: [Epub]		2007
<u>Akechi T</u> , <u>Okamura H</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Psychosocial factors and survival after diagnosis of inoperable non-small cell lung cancer.	Psycho-Oncology	18	23-29	2009
Fujino N, <u>Okamura H</u>	Factors affecting the sense of burden felt by family members caring for mentally ill patients.	Arch Psychiatr Nurs	23	128-137	2009
Niiyama, E, <u>Okamura H</u> , et al	A survey of nurses who experienced trauma in the workplace: influence of coping strategies on traumatic stress.	Stress Health	25	3-9	2009
<u>Akechi T</u> , <u>Okamura H</u> , <u>Uchitomi Y</u> , et al	Symptom indicator of severity of depression in cancer patients: a comparison of the DSM-IV criteria with alternative diagnostic criteria.	Gen Hosp Psychiatry	31	225-232	2009
Yamamoto T, <u>Okamura H</u> , et al	Relationship between awareness (EQS) and attention function (TMT) among patients with schizophrenia.	J Health Sci Hiroshima Univ	8	34-38	2009
Inoue S, <u>Okamura H</u> , et al	Assessment of the efficacy of foot baths as a means of improving the mental health of nurses: a preliminary report.	J Health Sci Hiroshima Univ			in press
Nawate Y, <u>Okamura H</u> , et al	Efficacy of group reminiscence therapy for elderly dementia patients residing at home: a preliminary report.	Phys Occup Ther Geriatr	26	57-68	2008
Hamaguchi T, <u>Okamura H</u> , et al	Survey of the current status of cancer rehabilitation in Japan.	Disabil Rehabil	30	559-564	2008

Shingu N, <u>Okamura H</u> , et al	Factors associated with the somatic sensation of inpatients with schizophrenia.	Occup Ther Ment Health	24	31-45	2008
Okuyama T, <u>Okamura H</u> , et al	Factors correlated with fatigue in terminally ill cancer patients: A longitudinal study.	J Pain Symptom Manage	35	515-523	2008
Ishikawa Y, <u>Okamura H</u> , et al	Factors that impede the discharge of long-term schizophrenic inpatients.	Scand J Occup Ther	15	230-235	2008
Yamashita M, <u>Okamura H</u> , et al	Psychological impact and associated factors after disclosure of genetic test results concerning hereditary nonpolyposis colorectal cancer.	Stress Health	24	407-412	2008
Shigemoto K, <u>Okamura H</u> , et al	Assessment of degree of satisfaction of cancer patients and their families with rehabilitation and factors associated with it - results of a Japanese population.	Disabil Rehabil	29	437-444	2007
Ozono S, <u>Okamura H</u> , et al	Factors related to posttraumatic stress in adolescent survivors of childhood cancer and their parents.	Support Care Cancer	15	309-317	2007
Mantani T, <u>Okamura H</u> , et al	Factors related to anxiety and depression in women with breast cancer and their husbands: role of alexithymia and family functioning.	Support Care Cancer	15	859-868	2007
Watanabe Y, <u>Okamura H</u> , et al	Depression and associated factors in residents of a health care institution for the elderly.	Phys Occup Ther Geriatr	26	29-41	2007
Kawanishi C, <u>Onishi H</u> , et al.	Unexpectedly high prevalence of akathisia in cancer patients	Palliative & Supportive Care	5	351-354	2007
<u>Onishi H</u> , Yamamoto W, et al	Detection and treatment of akathisia in advanced cancer patients during adjuvant analgesic therapy with tricyclic antidepressants.	Palliative & Supportive Care	5	411-414	2007
Sunakawa Y, <u>Onishi H</u> , et al.	A case report of respiratory akathisia in cancer patient	Palliative & Supportive Care	6	79-81	2008
Sasahara T, <u>Kizawa Y</u> , <u>Morita T</u> , <u>Iwamitsu Y</u> , <u>Otaki J</u> , <u>Okamura H</u> , <u>Takahashi M</u> , <u>Takenouchi S</u> , et al	Development of a standard for hospital-based palliative care consultation teams using a modified Delphi method	J Pain Symptom Manage	38	496-504	2009
Sasahara T, Miyashita M, Umeda M, et al.	Multiple Evaluation of a Hospital-Based Palliative Care Consultation Team in a University Hospital: activities, patient outcome, and referring staff's view.	Palliative and Supportive Care			(in press)

Okazaki S, Iwamitsu Y, et al	The psychological responses of outpatient breast cancer patients before and during first medical consultation.	Palliative and Supportive Care	7	307-314	2009
Okazaki S, Iwamitsu Y, et al	Trait anxiety and emotional response before and after breast cancer diagnosis	Japanese Bulletin of Social Psychiatry	17	245-256	2009
Ando N, Iwamitsu Y, et al	Psychological characteristics and subjective symptoms as determinants of psychological distress in patients prior to breast cancer diagnosis	Support Care Cancer	17	1361-1370	2009
Ando N, Iwamitsu Y, et al	Predictors of psychological distress after diagnosis in breast cancer patients and patients with benign breast problems	Psychosomatics			In press
Narita M., Takei D., <u>Shiokawa M.</u> , Tsurukawa Y., Matsushima Y., Nakamura A., Takagi S., Asato M., Ikegami D., Narita M., Amino T., Niikura K., Hashimoto K., Kuzumaki N., Suzuki T	Suppression of dopamine-related side effects of morphine by aripiprazole, a dopamine system stabilizer	Eur J Pharmacol	600	105-109	2008
Narita M., Shimanura M., Imai S., Kubota C., Yajima Y., <u>Shiokawa M.</u> , Inoue T., Suzuki M., Suzuki T.	Role of interleukin-1 β and tumor necrosis factor- α -dependent expression of cyclooxygenase-2 mRNA in thermal hyperalgesia induced by chronic inflammation in mice	Neuroscience	152	477-486	2008
<u>Ise Y, Morita T, Maehori N, Kutsuwa M, Shiokawa M, Kizawa Y</u>	Role of the community pharmacy in palliative care: A nationwide survey in Japan.	J Palliat Med.	in press		2010

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
木澤義之, 山本亮	【がん対策基本法を受けて変わりつつあること 今後の緩和ケアを見つめて】 がん診療に携わるすべての医師が緩和ケアの基本的な知識を習得していくための研修PEACEプログラムを用いた研修会について.	緩和医療学	11 巻 4号	303-309	2009
木澤義之	【緩和ケアをともに学ぶ、教える伝えようとするスタッフのために】 緩和ケアの教育体験と学ぶためにふれてみたい作品 わたしの教育体験 学習者が持つポテンシャルを引き出す.	緩和ケア	19 巻 10 月増刊号	218-219	2009